

平成 30 年度 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		基準を満たすスペースと確保していますが、空いている他事業用のスペースを活用するなどの工夫をしています。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		法令で定められた配置に加え、保育士・指導員を1人以上(常勤換算)配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		建物は全体的にバリアフリー化されていますが、段差のある畳コーナーでは安全に配慮していません。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		事業の年間目標を設定し、定期的に会議を開くなかでスタッフから業務改善等の意見を聞きながら取り組んでいます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			平成 29 年度より保護者等向け評価表を使ってアンケート調査を実施し業務の改善につなげています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			平成 29 年度分から法人のホームページで公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は第三者評価を行っていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部で行う研修等に積極的に参加するように心がけています。また、事業所内では ABA を活用した研修に取り組んでいる。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			プログラムが固定化しないようにスタッフで相談しながら定期的に見直しを行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		長期休暇などには様々な社会体験の機会を提供しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			報告・連絡・相談をしっかりと行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			月次評価と半年に1度のモニタリングを実施しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○		日常生活スキル、自立支援、余暇支援、地域活動、創作活動を組み合わせて支援しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者と担当スタッフの2名で参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校と直接または保護者を通じて情報の共有、連絡調整を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		定期的な処方内容と医療機関との相談内容を保護者より聞き取りをしています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		サービス担当者会議への参加と情報提供の依頼があった際には提供できています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		発達障害相談支援サポーターによる研修に参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		困っていることなどに対して積極的にアドバイスをするとともに、研修会などの情報提供を行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			日頃から保護者とのコミュニケーションを図り、相談等にも積極的に応じています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付担当者、苦情解決責任者を配置するとともに、苦情対応マニュアルを整備して対応しています。また、苦情だけでなく要望などに対しても迅速に対応するようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		定期的な会報は発行していませんが、連絡ノートや便りなどをつうじて各種の情報を提供しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回避難訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			事業所内での研修や県主催の研修などに参加し、虐待防止の意識向上を図っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者より情報提供をしていただき、検査結果や医師の意見等を情報収集しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

平成31年3月実施